

目次

[概要](#)

[環境](#)

[症状](#)

[解決策](#)

概要

この資料はデフォルト アクションが復号化する設定 され、認証が無効であるとき Windows Live Messenger がはたらかないところで直面する問題を記述したものです。

環境

ディセーブルにされる認証

HTTPS トラフィックのためのデフォルト アクションは「復号化ポリシーで」復号化するために「設定されます

有効になる AVC トラフィックのための復号化

症状

Windows Live Messenger ログオンははたらかしません。

解決策

Cisco Web セキュリティ アプライアンス (WSA) の自己署名されるか、または自己生成認証を使用していれば、Windows Live Messenger はこの認証を信頼しません。それ故に WSA が認証を使用してトラフィックを復号化する、メッセージャーはログオン/アクセス失敗に終って接続を切断するか、またはリセットします。

通常、Windows Live Messenger は Internet Explorer (IE) 証明書ストアにインストールされる認証を信頼するはずです。

クライアントマシンで WSA から認証をインストールすれば一度インストールされて、Windows Live Messenger は接続できるはずです。

クライアントマシンで WSA から認証をインストールするのに次のステップを使用して下さい

1. セキュリティ サービスの下 ---> HTTPS プロキシ ---> Edit 設定は WSA から、認証をダウンロードします。
2. .pem から .txt に認証 拡張の名前を変更して下さい。
3. Notepad のようなアプライアンスを使用して .txt ファイルを開いて下さい。 .txt ファイルの

すべてのコンテンツを選択して下さい。

4. クライアントマシンの新しい Notepad ファイルを開いて下さい。ステップ 3.で選択されるコンテンツを貼り付けて下さい。
5. 「.cer」ファイルとしてファイルを保存して下さい。
6. 「.cer」ファイルを右クリックし、「証明書のインストール」オプションを選択して下さい。
7. 認証がクライアントマシンでインストールされていた後、終わりは Windows Live Messenger を再起動し。

グループ ポリシーまたは GPO の自己署名ルート certificate を押すことについてのその他の情報に関しては、次の技術情報を参照して下さい: [グループ ポリシーまたは GPO の自己署名 原証明を押す方法か。](#)